

勤務証明書

令和3年 月 日

新潟市教育委員会 様

証明者

(所在地)

(学校名)

(校長氏名)

(電話)



下記の者は、平成30年4月1日から令和3年3月31日までの期間に、正規教員又は講師等の常勤の臨時職員として、当校に勤務していた期間があることを証明します。

記

フリガナ 氏名	性別	生年月日 年齢(令和4年4月1日現在)		
		昭和・平成 年 月 日生 歳		
職名(○で囲む)	在職期間		在職年月日数	
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	自	年 月 日	～	年 月 日
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	至	年 月 日		年 月 日
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	自	年 月 日	～	年 月 日
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	至	年 月 日		年 月 日
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	自	年 月 日	～	年 月 日
正規教員 講師 助教諭 養護助教諭 その他(職名:)	至	年 月 日		年 月 日
在職年月日数の合計 ※日数の合計は30日を1月として換算してください。				年 月 日

<受検者>

※ この様式とともに、辞令又は雇用通知書などの写しを添付し、勤務していた学校の校長に勤務証明書の作成を依頼してください。勤務校が複数ある場合は学校ごとに依頼し、出願時にこの証明書を必要枚数(7か月以上又は210日以上勤務が証明できるように)提出してください。

<証明者>

※ 発令があっても雇用期間が連続するときは通算してください(例:産休代替から育休代替に替わった場合や、雇用期間の延長による辞令がある場合など)。

※ この証明書に記載する在職期間は、平成30年4月1日から令和3年3月31日までです。